

障害科学学位プログラム(博士後期課程)

基礎科目_障害科学学位プログラム(博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBTC001	障害科学研究実践法	3	1.0	1 - 3	通年	応談	障害科学学位プログラム(博士後期課程)全教員	障害科学の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、国内外の研究および研究方法論に焦点をおき、広く障害科学を修める。併せて研究倫理を含め各自の研究の方法について考究する。具体的には、文献研究法、視覚・聴覚・知能・発達検査法、生理心理実験法、量的調査研究法、質的研究法、事例研究法等ならびにそれぞれの研究方法の複合的な活用による課題解決手法などを学ぶ。	主専攻必修科目。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 担当教員の指示による
OBTC002	海外研究活動I	3	1.0	1 - 3	通年	随時	障害科学学位プログラム(博士後期課程)全教員	指導教員の指導を受けた研究内容について、指導教員と連名で、かつ筆頭発表者として、海外で開催される国際学会で英語での発表を行う。学会名、場所、日時、研究発表ならびに質疑応答の内容についてレポートを作成することが求められる。なお、口頭発表・ポスター発表等の別は問わない。	詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) オンライン(対面併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 担当教員の指示による
OBTC003	海外研究活動II	3	1.0	1 - 3	通年	随時	障害科学学位プログラム(博士後期課程)全教員	指導教員の指導の下、学会発表以外で、海外における障害科学に関連する研究活動等を行う。当該研究活動に関する研究計画書と研究活動成果報告書を作成し、提出することが求められる。	詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 担当教員の指示による
OBTC004	障害科学フィールドワークアドバンスI	3	2.0	1 - 3	通年	随時	障害科学学位プログラム(博士後期課程)全教員	本授業では、障害科学領域の複数教員が提供する(1)共同研究プロジェクト、(2)実践活動、(3)社会貢献活動から大学院生が活動を選択し、研究や実践の専門的体験を行う。研究者や実務者、当事者等と協働しながら、研究倫理・安全管理にも配慮して学外フィールドでの研究・実践力を行い、学術的洞察と実践力を統合的に養う	障害科学学位プログラム学生に限る オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 担当教員の指示による
OBTC005	障害科学フィールドワークアドバンスII	3	2.0	2 - 3	通年	随時	障害科学学位プログラム(博士後期課程)全教員	本授業では、障害科学領域の複数教員が提供する(1)共同研究プロジェクト、(2)実践活動、(3)社会貢献活動から大学院生が活動を選択し、研究や実践の専門的体験を行う。研究者や実務者、当事者等と協働しながら、研究倫理・安全管理にも配慮して学外フィールドでの研究・実践力を行い、学術的洞察と実践力を統合的に養う。	障害科学学位プログラム学生に限る。障害科学フィールドワークアドバンスIIを修得していること オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 担当教員の指示による

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBTC006	障害科学フィールドワークアドバンスIII	3	2.0	3	通年	随時	障害科学学位プログラム(博士後期課程)全教員	本授業では、障害科学領域の複数教員が提供する(1)共同研究プロジェクト、(2)実践活動、(3)社会貢献活動から大学院生が活動を選択し、研究や実践の専門的体験を行う。研究者や実務者、当事者等と協働しながら、研究倫理・安全管理にも配慮して学外フィールドでの研究・実践力を行い、学術的洞察と実践力を統合的に養う。	障害科学学位プログラム生に限る。障害科学フィールドワークアドバンスI・IIを修得していること オンライン(同時双方向型) 対面 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 担当教員の指示による

専門科目_障害科学学位プログラム(博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBTC101	視覚障害講究I	2	1.0	1-3	通年	随時	柿澤 敏文, 宮内久絵, 佐島 毅, 和田 恒彦	視覚障害学を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC102	視覚障害講究II	2	1.0	1-3	通年	随時	柿澤 敏文, 宮内久絵, 佐島 毅, 和田 恒彦	視覚障害学を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC103	視覚障害講究III	2	1.0	1-3	通年	随時	柿澤 敏文, 宮内久絵, 佐島 毅, 和田 恒彦	視覚障害学を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC111	聴覚障害講究I	2	1.0	1-3	通年	随時	小淵 千絵, 左藤敦子	聴覚障害学を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC112	聴覚障害講究II	2	1.0	1-3	通年	随時	小淵 千絵, 左藤敦子	聴覚障害学を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC113	聴覚障害講究III	2	1.0	1-3	通年	随時	小淵 千絵, 左藤敦子	聴覚障害学を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBTC121	知的・発達・行動障害講究I	2	1.0	1 - 3	通年	随時	米田 宏樹, 野呂 文行, 小島 道生, 佐々木 銀河, 松田 壮一郎, 魚野 翔太, 丹治 敬之, 石塚 祐香, 三益 亜美	知的・発達・行動障害学を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC122	知的・発達・行動障害講究III	2	1.0	1 - 3	通年	随時	米田 宏樹, 野呂 文行, 小島 道生, 佐々木 銀河, 松田 壮一郎, 魚野 翔太, 丹治 敬之, 石塚 祐香, 三益 亜美	知的・発達・行動障害学を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC123	知的・発達・行動障害講究III	2	1.0	1 - 3	通年	随時	米田 宏樹, 野呂 文行, 小島 道生, 佐々木 銀河, 松田 壮一郎, 魚野 翔太, 丹治 敬之, 石塚 祐香, 三益 亜美	知的・発達・行動障害学を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面(オンライン併用型) 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC131	運動障害・病弱講究I	2	1.0	1 - 3	通年	随時	鈴木 寿人	運動障害学・病弱を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC132	運動障害・病弱講究II	2	1.0	1 - 3	通年	随時	鈴木 寿人	運動障害学・病弱を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC133	運動障害・病弱講究III	2	1.0	1 - 3	通年	随時	鈴木 寿人	運動障害学・病弱を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC141	音声・言語障害講究I	2	1.0	1 - 3	通年	随時	宮本 昌子, 飯村 大智	音声・言語障害学を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC142	音声・言語障害講究II	2	1.0	1 - 3	通年	随時	宮本 昌子, 飯村 大智	音声・言語障害学を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC143	音声・言語障害講究III	2	1.0	1 - 3	通年	随時	宮本 昌子, 飯村 大智	音声・言語障害学を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBTC151	障害福祉学講究I	2	1.0	1 - 3	通年	随時	名川 勝, 大村 美保, 森地 徹, 山中 克夫	障害福祉学を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC152	障害福祉学講究II	2	1.0	1 - 3	通年	随時	名川 勝, 大村 美保, 森地 徹, 山中 克夫	障害福祉学を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC153	障害福祉学講究III	2	1.0	1 - 3	通年	随時	名川 勝, 大村 美保, 森地 徹, 山中 克夫	障害福祉学を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC161	障害原理論講究I	2	1.0	1 - 3	通年	随時	岡 典子	障害原理論を専門分野とする者に対して、博士論文のデザイン発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC162	障害原理論講究II	2	1.0	1 - 3	通年	随時	岡 典子	障害原理論を専門分野とする者に対して、学会発表や学術論文への投稿に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による
OBTC163	障害原理論講究III	2	1.0	1 - 3	通年	随時	岡 典子	障害原理論を専門分野とする者に対して、博士論文の中間発表に向けた指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 対面 日本語で講義 レポート・テスト回答は英語でも可 指導教員の指示による